

富士通が考える情報セキュリティ

「快適で安心できるネットワーク社会づくり」と情報セキュリティ

富士通グループは、グループの理念・指針として「FUJITSU Way」を制定しています。

ここでは、“社会における企業の責任と役割の変化”を強く意識しており、社会における富士通グループの存在意義を示す企業理念を以下のように定めています。

企業理念

富士通グループは、常に変革に挑戦し続け
快適で安心できるネットワーク社会づくりに貢献し
豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供します

ICT (Information and Communication Technology) は、世界の人々をつなぎ、様々なアイデアと機会を生み出しました。その一方で、私たちはICTの急速な普及によって新たな課題にも直面しています。国境を超えて増加し続けるサイバー攻撃への備え、個人情報や機密情報などの確実な保護は、あらゆる企業や団体において早急に対応すべき事項となってきました。富士通グループでは、自社のシステム運用で培ったテクノロジーの活用を基本に、様々な関連機関と協働してこれらの問題に対応しています。

富士通グループは、誰もがICTにより最大限に可能性を引き出し、社会が持続的に成長していく世界「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」をビジョンに掲げています。そして、ICTの力によって、持続可能な地球と社会の実現に貢献することと、デジタル社会の安心安全を維持・強化していくことをグローバルICT企業としての社会的責任と考えています。

このビジョンのもと、富士通グループはこれからのインテリジェントな社会を支えていくための様々な情報セキュリティ施策を推進しています。「FUJITSU Way」において、社員として厳守すべきことを示した行動規範として機密保持を要求すると共に、国内外共通の「富士通グループ情報セキュリティ基本方針」を定めています。この基本方針に基づいて情報セキュリティ関連規定を整備し、富士通グループ全体に適用しその遵守に努めています。

また、富士通グループでは、情報管理を徹底し、情報セキュリティの強化を図るために、統一的な情報セキュリティ管理体制を構築しています。一方で、幅広い分野にわたってビジネスを展開していることから、個々のビジネスの特性によって求められる情報管理や情報セキュリティ上の異なる課題に迅速に対応できるよう、部門単位での情報セキュリティ管理体制も合わせて敷いています。

今回お届けする「情報セキュリティ報告書 2015」は富士通グループの情報セキュリティに関する活動をご紹介します。是非、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

富士通株式会社
代表取締役社長

山本 正巳

